

移動等円滑化取組計画書

2020年6月30日

住 所 千葉県鎌ヶ谷市くぬぎ山四丁目1番12号

事業者名 新京成電鉄株式会社

代表者名 代表取締役社長 眞下 幸人

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の4の規定に基づき、次のとおり提出します。

I 現状の課題及び中期的な対応方針

(1) 旅客施設及び車両等の整備に関する事項

バリアフリールートについては全駅で1ルート整備を達成している。多機能トイレについても2019年度までに全駅に設置済みである。内方線の整備については、全24駅中6駅（うち乗降人数1万人以上1駅）で未整備となっているが、2020年度に1駅内方線の整備が完了し、今後もホームの嵩上げ工事と併せ、年に1駅ずつ整備を進めていく予定である。また松戸駅改良工事を2020年度より着工し、お客様の利便性向上を図る。（2026年度完成予定）
車両については、2021年度に車椅子スペースが設置されていない8000形を1編成廃車し、80000形を導入予定である。これにより全ての編成（26編成）で公共交通移動等円滑化基準に適合する。

(2) 旅客支援、情報提供、教育訓練等に関する事項

旅客支援については、車椅子をご利用のお客様が列車乗降する渡り板を全駅に配備しており、引き続き駅係員によるご案内を実施するほか、お客様へのお声かけを積極的に行い誰もが利用しやすい環境づくりを推進する。

情報提供については、駅施設や列車運行に関する情報を、よりわかりやすく提供するため、当社公式Webサイトやスマートフォン向け公式アプリ「新京成線アプリ」の適宜アップデートを行う。

教育訓練については、駅係員のサービス介助士資格習得率は2020年3月時点で約84.6%であり、引き続き未取得者への取得を推進し、取得率100%を目指す。

II 移動等円滑化に関する措置

① 旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる旅客施設及び車両等	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
前原駅	・ホーム嵩上げに伴い、内方線付き JIS 規格化点状ブロックを設置する。(2020 年度)
常盤平駅	・ホーム嵩上げに伴い、内方線付き JIS 規格化点状ブロックを設置する。(2020～2021 年度)

② 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
声かけサポート運動の継続実施	・係員からの声かけを積極的に実施し、必要に応じて誘導案内の支援を行う。

③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
駅構内での自動音声案内の実施	・常盤平駅において、自動音声によりトイレ等の場所を案内できる設備を設ける。(2020 年度)
当社 Web サイトおよび「新京成線アプリ」の拡充	・当社公式 Web サイトについて、掲載情報の拡充等を実施し、わかりやすい情報提供を図る。(2020 年度) ・稼働中の当社公式スマートフォン向けアプリ「新京成線アプリ」について、アップデートを実施し、利便性向上を図る。(2020 年度)

④ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
接遇研修の実施	・京成グループにて、BMK接遇研修を実施している。
接遇教習の実施	・新入社員に対して京成グループで作成した接遇マニュアルを使用した接遇教習を実施している。
サービス介助士資格取得の推進	・新入社員をはじめとした駅係員を対象に、未取得者の資格取得を推進する。(2020年度)

Ⅲ 移動等円滑化の促進のためⅡと併せて講ずべき措置

<ul style="list-style-type: none"> ・「声かけサポート運動」を継続実施し、係員からの声かけを強化するとともに、利用者への理解・協力を求めることで、利用しやすい環境整備を図る。 ・バリアフリー化整備を促進するため、補助制度の活用等について関係各署との協議を継続して行う。

Ⅳ 前年度計画書からの変更内容

対象となる旅客施設及び車両等又は対策	変 更 内 容	理 由

Ⅴ その他計画に関連する事項

--

注1 Ⅳには、Ⅱについて前年度と比較して記入すること。なお、該当する対策が複数になる場合には、新たに欄を設けて記入すること。

2 Ⅴには、Ⅱの欄に記入した計画に関連する計画（事業者全体に関連するプロジェクト、経営計画等）がある場合には、必要に応じ、その計画内容及び計画における当該事業者の位置付け等について記入すること。